

自治会活動 参加レポート

No.3 東大和向原第16自治会

防災訓練・炊き出し訓練

(平成26年6月15日実施)

東大和向原第16自治会では、1年に2回防災訓練を行っているということで、今年第1回目の防災訓練に参加させていただきました。

行われたのは、6月15日日曜日。同自治会の秋山会長いわく「今まで一度も雨が降ったことがない」とのことでしたが、この日も快晴の日曜日、さすがです。

当日朝は、自宅を出るところからが避難訓練で、都営住宅東側の広場に参加者約25名が集合し、担架でけが人（人形）を集会室に運び、その後北多摩西部消防署東大和出張所の職員の方5名によるAED救急救命訓練が始まりました。

なおこの担架、東大和向原第16自治会の皆さんのこだわりが満載です。



狭い階段でも使いやすく、また非力な方だけでも怪我人が運ぶことができ、更に置き場をとらないという優れもの。

布と布テープを購入し、自治会の方がミシンで縫った手作りだそうです。

実際に乗ってみると、これが安定しており、寝たままでも座ったままでも移動することができます。取っ手の布テープも太さも太く、運ぶ人達も楽々です。

会長のお話では、90 キロ位の方までは問題なく運べるとのこと。

みなさんの知恵と技術が詰まった担架でした。

お話は訓練に戻り・・・

一通り署員の方の説明があった後、まずは「人が倒れているのを発見、近くの人に救急車と AED をお願いし、心臓マッサージと人工呼吸を行う」という訓練内容です。



救急救命訓練

希望者が前に出て、署員の方の説明通り行います。みなさんととても慣れていてスムーズに動作が行えていました。消防署員の方のお話では、心臓マッサージや AED の操作は繰り返し訓練をしないと、いざという時になかなか行動できないとのこと。自治会の方たちは1年に2回、

同様の訓練のほか消火訓練などを繰り返し行っていると伺い、これらのスムーズな動きに納得しました。



AED 操作訓練中

その後は AED を持参した人が到着し、ケースを開けてパッドを装着し電気ショックを与える一連の動作を行いました。

実際に自分の家族がこのような状態にあったとき、気が動転して体にしがみついてしまい、電気ショックを与える場面でもなかなか離れないと

いうことがあるそうです。そのような場面に遭遇したときには、「離れなければいけないんだ」ということを覚えていてくださいとのお話があり、みなさん真剣な表情で動作として身体に覚えさせているようでした。



DVD を見ての訓練

その後 DVD と講話で救急救命訓練は終了しましたが、訓練中でも声を掛け合ったり、熱中症対策のため途中で水分補給をすることをお互いに気遣うなど、本当に和やかな雰囲気の中での訓練でした。

次は、炊き出し訓練です。

こちらの自治会の炊き出し訓練は役割分担をしないそうです。なぜなのかを会長に伺ったところ、「実際にこのような炊き出しをしなくてはいけなくなった時、事前に役割を決めていても必ずしもその通りに人が揃うとは限りません。そのため誰もが全体の流れをつかんでおき、1つの役割に固定するのではなく、適宜判断しながら足りないところを手伝っていくというスタンスで、毎回炊き出し訓練をしている」とのことでした。



その言葉どおり、皆さん実に手際がよく、倉庫からかまどを作るためのブロックを並べたり、タープを張ったり、また野菜を洗うなど、本当に行動が皆さんの頭の中に入っている感じでした。またきびきびした動きのなかにもとても和気あいあいとした雰囲気があり、男性も女性も一緒にかまどを作ったり、力を出し合って作業を進めていました。

そのような作業が着々と進む中、生活での困りごと等を会長に相談する方もいらっしゃいました。こちらの自治会も高齢化が進み、高齢者の見守りも課題だそうですが、このように外で集まり顔を合わせることで、いろいろな話もしやすいのではないかと感じました。

準備を始めてから1時間足らず。あっという間に食事が出来上がりました。日陰にセットされたテーブルにはたくさんの料理が並んでいます。「〇〇さん、呼んでください」と、高齢者の方に声をかけて来る方もいました。

今回の訓練でのメニューは、牛丼ととうもろこしなどの野菜や魚介類を網で焼いたバーベキュー。ご飯はアルファ化米です。それ以外にも皆さんの手作り料理が次から次へと回ってきます。「あら美味しい!」「これどうやって作るの?」などの会話を聞いていますと、皆さんが長年のお付き合いで結ばれているんだなということが感じられます。



炊き出し訓練でしたが、外で食べるバーベキューなどはな

かなか自宅ではできないとのことで、皆さんが楽しみにしていた気持ちが伝わってきました。

本当においしく心が温まる炊き出しと手作りのおかず、ごちそうさまでした。

会長からお話を伺っていると、こちらの自治会では、普段から高齢者の方や一人暮らしで困っている方をみんなで見守っているという、どちらかというと希薄さに注目してしまいがちな昨今のご近所づきあいとは違った印象があります。

このつながりが災害の時はもちろん、普段の生活の中でも「安心感」として生かされることを改めて感じられた1日でした。



自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所市民生活課 市民協働係までお問合せください。

電 話 042-563-2111（内線1711）

ファックス 042-563-5931

※平成29年4月より課名が「地域振興課」へ変更となりました。